

No.125

2019.4.17発行



議会だより



- 決まりました！
新年度の予算と事業計画 … P.2~3
- 議会の新しい体制 …………… P.4~5
- わたしのひとこと …………… P.15
南山田・桐木一 吉光 豊さん
東飯田・富来口 諫山 咲子さん
- バトンをつなぐ／議会クイズ
………… P.16

新年度予算決定しました

一般会計 70億6,500万円

(対前年比 2億4,200万円減 ▲3.3%)

特別会計総額 33億2,683万円

内訳

国民健康保険	15億507万4千円	介護保険	14億8,755万5千円
水道	1億2,728万5千円	後期高齢者医療	1億3,826万円
飯田高原診療所	6,865万5千円		

全会計 103億9,183万円 (対前年比 2億2,508万円減 ▲2.1%)

当初予算算質疑

こんな質疑が出ました

佐藤明郎議員

質問

グループホームに関する予算は？

今回は若干のプラスで見込んでいる。

増田裕子議員

質問

観光DMOは早い設立を望むが、検討委員会4回分の予算で十分か。

当面4回、必要あれば補正をお願いする。

質問

部落差別解消推進員は町独自の予算か。

町独自事業である。教育委員会に配置し、各機関に向く。

回答

東飯田公民館工事請負費の内訳は。

質問

Wi-Fi設置と周辺整備工事である。

小川克巳議員

質問

百年の杜、事業内容は。下草刈り0・78haである。

質問

国が発行する福祉商品券と町独自の商品券の発行時期は。混乱しないよう、商工会と相談して決める。

回答

質問

九州オレレの今後の見通しは。3月5日にコース変更が認められた。

回答

質問

泉水施設の水道管理委託費が208万円と高額だが、専用の水源であり、管理清掃等全てを含む。

回答

質問

東飯田公民館工事請負費の内訳は。

回答

Wi-Fi設置と周辺整備工事である。

平成31年度

主な事業



整備される飯田地区公営住宅

新規事業ピックアップ

- 防災行政無線デジタル化実施設計（1,000万円）
- 高齢者運転免許証自主返納支援（48万円）
- 幼児教育無償化（2,237万円）
- 吊橋、学校施設長寿命化計画策定（1,684万円）
- 飯田地区各種証明書発行（248万円）
- 20年後の九重町プロジェクト（57万円）
- 部落差別解消推進指導員（230万円）
- 外国語教育支援員設置（230万円）
- フッ化物洗口（155万円）
- 雨水タンク設置補助（150万円）
- 生きいきランドトイレ設置（880万円）

継続／拡大される事業ピックアップ

- 飯田地区公営住宅整備（6,650万円）
- 子ども医療費助成（2,620万円）
- ケーブルテレビ機器更新（4,411万円）
- 活力あふれる園芸産地（2,203万円）
- 小規模集落対策（1,169万円）
- 公共施設AED整備（1,215万円）
- 小松地獄園地整備（2,492万円）

CHECK!

町の基金とは、家庭で言えば貯金です。 ※平成30年度末（見込）

総額69億4千万円（一般会計 67億6千万円
特別会計 1億8千万円）

全部で26種類の基金がありますが、財政調整基金（12億円）以外は、用途が決まっている貯金です。財政調整基金はいわゆる「普通預金」のようなものです。

議長就任にあたって



土井 眞一郎

この度二月の臨時議会において二十七代議長に選任いただき、重責に身の引き締まる思いをしております。

今、九重町が抱える諸問題は多々ありますが、少子高齢化の中、子育て支援をはじめ、高齢者・障がい者の福祉、農業後継者不足の問題等、どれをとっても重要な課題が山積をしております。しかし、何よりも心配されることは急

激な人口減から、地域の持つ機能が果たせなくなることです。この課題には、町民、行政、議会が一体となつて取り組んでいかねればなりません。町民の声を町政に反映させ、町に住む喜びと誇りが持てる町づくりを目指していきたいと考えます。

皆様のご理解とご協力をお願いして、就任のあいさつといたします。

2/18 2月臨時会 新体制が決まりました

議長 土井眞一郎
副議長 有吉 富生

各常任委員会等 (左の頁を見てください)
議会選任監査委員 増田 裕子

新体制紹介

平成30年度補正予算

こんな質問が
出ました

3/11

平成30年度補正予算

一般会計

補正額 1億7,491万8千円減
補正後 72億6,466万2千円

特別会計

	補正額	補正後
国保	△78,016	- 1,517,792
水道	△18,000	- 106,874
介護保険	△70,106	- 1,480,385
介護サービス	+211	- 26,961
後期高齢者医療	△6,761	- 135,391

△172,672 - 3,267,403

(単位：千円)

佐藤博美議員

Q まちの担い手応援事業補助金が有効に活用されていない要因は何か。

A 資格取得なども対象としたが、より活用しやすい制度にしていきたい。

佐藤明郎議員

Q 合併処理浄化槽設置補助金の内、予算の20%以上が減額された要因は何か。

A 現在普及率は53%。今後は業者と協力して、町民への周知につとめたい。

小川克巳議員

Q 景観づくり補助金の減額68万円の要因は何か。

A 1件50万円限度として、2件予定していたが、飯田地区1件のみの申請であった。

Q 各地区集会所改修補助金については、要望が多いと聞くと、予算の60%が減額されている。制度に課題はないか。

A 施設の長寿命化のための補助金であるが、地元負担金が支障になっている例もある。

これから2年間、この体制で進みます!



議会事務局

議席
番号

濱田教育長

時松副町長

② 岩尾 茂樹

④ 岐部 俊哉

⑤ 麻生 良典

③ 野上香代子

⑥ 増田 裕子

⑧ 佐藤 明郎

⑩ 菅原 美好

① 有吉 富生

日野町長

⑫ 土井眞一郎

⑪ 小川 克巳

⑨ 佐藤 博美

⑦ 大津留敏加

教育民生観光常任委員会

委員長 麻生 良典
副委員長 岐部 俊哉
委員 土井眞一郎
委員 菅原 美好
委員 大津留敏加
委員 野上 香代子

総務建設産業常任委員会

委員長 佐藤 明郎
副委員長 増田 裕子
委員 小川 克巳
委員 佐藤 博美
委員 岩尾 茂樹
委員 有吉 富生

議会広報特別委員会

委員長 増田 裕子
副委員長 麻生 良典
委員 佐藤 明郎
委員 岐部 俊哉
委員 野上 香代子
委員 有吉 富生

議会運営委員会

委員長 大津留敏加
副委員長 菅原 美好
委員 小川 克巳
委員 佐藤 博美
委員 佐藤 明郎
委員 麻生 良典

付託以外 人事案件

13件

同意



穴井 義朗さん
(下旦三)

固定資産評価
審査委員会委員



今永 裕康さん
(北恵良二)

教育委員会
委員

飯田祥治朗さん(湯沢)
手島 政弘さん(南区)
日野 武さん(北恵良二)
植山 秀明さん(北恵良二)
佐々木清和さん(猪牟田)
小田稲次郎さん(梶屋)

農業委員会委員
(11名)

議員提出議案

1件

可決

九重町議会会議規則の一部改正について

会議で発言を求める時、挙手し、議長に指名された後、「議席番号」の次に「氏名」を告げる。
(よりわかりやすいように改正)

清竹 鉄也さん(黒猪鹿)
矢方 盛土さん(中村中二)
穴井 勲さん(栗原)
佐々木洋子さん(後辻)
矢幡 陽子さん(寺田)

委員会に付託された議案

19件

可決

番号	案件名
3	職員の給与に関する条例の一部改正について
4	職員の給与の特例に関する条例の全部改正について
5	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
6	公益的法人等への九重町職員の派遣等に関する条例の制定について
7	九重町コミュニティバス等運行事業に関する条例の全部改正について
8	九重町まちづくり寄附金条例の一部改正について
9	九重町過疎地域自立促進計画の一部変更について
10	国民健康保険税条例の一部改正について
11	九重町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
12	九重町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例等の一部改正について
13	道路認定について
14	九重町ふるさと館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
15	国民健康保険条例の一部改正について
16	九重町子ども医療費助成に関する条例の一部改正について
17	重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について
18	九重版DMO設立検討委員会設置条例の制定について
19	九重町中小企業・小規模事業者振興基本条例の制定について
20	九重町自然環境保全推進委員会設置条例の一部改正について
21	公民館の設置及び管理に関する条例等の一部改正について

議案一覽



新設トイレ予定地

可決された案件

多目的グラウンド西側に トイレを新設する計画

「九重町過疎地域自立促進計画の一部変更について」は、計画に、社会体育施設整備事業（多目的グラウンド・トイレ設置）を加え、利便性の向上と高齢者や身体の不自由な方にも利用しやすい施設とするため、グラウンド西側にトイレを設置するものです。



川底線を町道に認定

「道路認定について」は、昨年の9月議会において陳情を受け付け審査した川底線は、国道387号線から分岐した147mの区間で、地元住民にとって、重要な生活道路であり町道として認定するものです。



認定された川底線

お知らせ

今回は当委員会で全12議案の審査を行いました（別表参照）

みなさんからの陳情は、こうなりました

口ノ園行政区からの町道認定

口ノ園行政区、区長長野守氏からの「町道認定を求める陳情書」については、町道「相口線」の口ノ園防火水槽手前から若杉将夫氏宅手前までの延長331mと、若杉義昭氏宅から分岐し、若杉末子氏宅までの延長208mの区間で、集落の幹線道路であり、要援護者も居る状況、又、隣接する地権者の同意も得ていることから、採択することになりました。



審査前に現地視察

子ども医療費が無料になります

4月から小中学生の通院に係る医療費は全額が助成されますが、9月までは償還払いになります。

重度心身障がい者医療費は医療機関での手続きだけになります

平成31年度中に役場で申請する償還払いを無くし、医療機関での手続きだけで済む自動償還払い方式に移行します。

こども園利用料が無償化されます

国に先駆けて、九重町では4月から3～5歳児のこども園利用料が無償化されます。



※償還払いとは

医療サービス等の利用者が、費用をいったん支払い、その後自治体などに申請して払い戻しを受けることです。



小学校でのフッ化物洗口が実施されます

小学校でのフッ化物洗口事業予算が可決されました。保護者の方々へのアンケート結果等を踏まえ、実施要項やマニュアルの整備も進んでいます。十分な対応策と、歯みがきや食育指導も行って、歯の健康格差が無くなることを期待しています。

東飯田交流センターがオープン

東飯田交流センターが完成し、今年度から利用できることになりました。新公民館も併設されています。これで、町内4地区すべてに整備されました。せっかくできた良い施設。みんなで使って楽しみましょう。



町政を質す 一般質問

6名の議員が質問

増田
裕子



九重町独自の教育行政を まちづくりの視点で

…… 地域と共にある学校づくり、このえ学園構想を
更に進める

このえ学園基本計画の更なる充実を

増田 小規模校の特徴を活かしつつ、町内学校の連携をはかる「このえ学園」の取り組みは。

教育長 「集合学習」は小学校5、6年生中心に、社会見学や修学旅行、中学校での体育や英語などの学習を合同で行っている。つながり学習として小学校1年生とこども園の園児との交流など、広く位置づけている。

増田 地域と共にある学校づくり「このえ緑陽中学校運営協議会（コミュニティスクール）」の歩みは。

教育長 まちづくりに貢献できる学校として、地域と学校が一体となって学校づくりに取り組んでいる。

今後さらなる充実と、来年度は小学校を一つとしたコミュニティスクールを設置して研究を進める。

増田 新しく配置する「部落差別解消推進指導致員」について、具体的な活動内容は。

教育長 学校での部落問題学習の授業の研究、実践、教材の開発、系統的な教職員の研修、他機関との連携など、専門職員として行っていく。



楽しい集合学習の体験授業

地域に根ざした小学校、まちづくり全体の観点からの計画見直しを

増田 新年度設置する「小学校再編検討委員会」の内容と方向性は。

野矢小学校や淮園小学校は、保護者や地域が一体となってモデル的な運営ができています。地域に根ざした小学校はぜひ残してほしい。基本計画を見直し、校舎改修や定住促進住宅の整備などトータルなまちづくりの視点からの学校計画が必要ではないか。

教育長 将来を見すえ、多面的な視点が必要と認識している。検討委員会では、現在の小規模校における教育の効果という教育の質の観点と、小学校と地域連携という地域づくり・活性化の観点を絡めて今後の配置整備のあり方を検討していただく。

第二次学校再編整備計画とは（H24年に公表）

将来計画において中学校1校、小学校各地区1校の4校配置とするが当面「小・中連携型一貫教育」小規模校の「小・小連携」に努める。

自然環境と暮らしを守る 20年後の将来像は

増田 移住定住に関係人口という新たな考え方、体験交流を増やして地域の活力にすることは。

町長 来年度は移住体験型住宅を整備する。多様化の時代だからこそ人のつながりが大事。町づくりの原点は人、さらに築いていきたい。

九重町の将来像、 町づくりの基本理念がみえない



佐藤
博美

…………… 自給率100%の町づくりの精神は
引き続き行っている

佐藤 今九重町がどういう町づくりを目指しているのか、コンセプト、基本理念が見えない。10年前、町づくり会議が提言した「自給率100%の町づくり」自然との共生を基本に、自給率は食料だけでなく、町内で使われるエネルギーや町づくり、経済活動に必要な人、物、情報などを対象に自給率を高める事で、自分の町を誇りに思い、町を好きになり、人が住みたくなる町づくりをする事が必要であると、提言している。この提言書をどのように生かしているのか。

町長 町づくりのコンセプトは何かと言われれば、第4次総合計画の中で2点ほど重点項目を掲げている中のひとつが「日本一の田舎づくり」である。一言で言えば九重町民が、この町に住んでよかったと実感できる事が一番だと思う。100%自給率の精神については、総合計画、総合戦略の中で引き続き行っているところである。



優秀な成績を取めた全国共進会

畜産振興、行政とJAが一体となった 畜産センター方式の取り組みを

佐藤 今、家畜市場は玖珠と豊肥で毎月開かれているが、今後出荷頭数が減ると県下一市場となる事も考えられる。玖珠の家畜市場を残すためには、玖珠・九重両町と、飯田、玖珠九重、農協が一体となった畜産センター方式での畜産振興をする事が必要ではないのか。

関係機関と十分協議して 検討していきたい

町長 竹田市ではS57年に、又豊後大野市はH25年に市とJAによって、豊後大野畜産センターが設置されて、指導内容の統一化ができスムーズな指導体制ができています。しかし、反面関係機関が寄り合う団体のため、職員待遇の違いやコンプライアンスのすり合わせの問題も発生している。今後関係機関と十分協議して検討していきたい。又、キャトルステーションについても検討していきたい。

グローバルチャレンジプランとは

佐藤 具体的にどんな取り組みをしてゆくのか。

教育長 夏休み中に小学3年生以上を対象にしたイングリッシュキャンプの計画。中学生を対象にした英語検定受験の促進事業。緑陽中学校と台湾の中学校の姉妹校提携に向けての交流。高校生を対象にした海外ホームステイの援助等を行っていく。

奨学金返還補助制度の創設とは

佐藤 どういう形の中で計画しているのか……

教育長 人材育成、人材確保のための施策で将来を担う人材育成を推進していくものである。

学校、保育、福祉、介護職場等限定された職業となると思うが、地元等に就職した場合に限って奨学金の返還金の一部または全部を補助していく制度の創設を検討している。

町政を質す 一般質問

佐藤 明郎



高齢者が安心して暮らせる
(防災・交通対策)住宅エリアの創造
…… …… …… …… …… 今後の重要課題と受け止めている

発電自給率・日本一の九重町

佐藤 電力自給率日本一の九重町、発電は町に大きな恵みをもたらしている、とされているが、町民には実感が無い。

町長 子育て支援を中心に還元しているが、全町民的に目に見える形での恩恵はむずかしい。

佐藤 ①防犯のため、街灯設置の推進②各集落コミュニティ推進のため、行政区管理施設の電気料補助はできないのか。

町長 財源も含め、可能性について検討したい。



維持管理が大変な防犯灯

佐藤 財源はある。発電量に応じ、国から電源立地交付金が来ている。この金は発電自治体における、町民の福祉向上が目的であり、私の提案した事業に充てるべきであり、又、実際にやっている自治体もあり、可能性はある。

町長 その交付金は、新年度、多目的グラウンドのトイレ新設に充てる予定である。防犯灯、行政区支援については、今後検討する。

健康長寿安心住宅エリアの創造

佐藤 町が推進している、高齢者等地域支え合い事業に大きな期待をしているが、現状はどうか。

町長 まだ準備の段階であり、各行政区に広がらないといった課題もある。

佐藤 地域で支え合う事は、大切な事業だが、住宅の裏が傾斜地の高齢世帯も多く、不安はつきまとう。防災に止まらず、免許証返納などで、交通環境の良い場所での生活を望む声が、今後高まると思うが。

町長 町の将来を考えた時、避けられない課題であると認識している。

佐藤 若者向けに住宅整備を進めているように、高齢者が、安心して、周囲の人々と支え合い、ふれ合い、生活できる住宅エリアを創造すべきである。

町長 国からも、同主旨の必要性を示されている。

佐藤 適した用地確保が課題であるが、維持管理に困窮している共有林の有効活用や、農地活用などについての法的可能性は、あるのか。

町長 法的なものは、調査してみるが、提案されたエリアの創造については、町の将来を考え、検討は不可欠であり、今後の計画の中でしっかり議論する。

電源立地交付金の流れ



総合計画は柔軟に策定し 広域的に対応すべき

……………若手を入れたチームで20年先を見据え
期間や圏域などを弾力化して対応する



麻生 良典

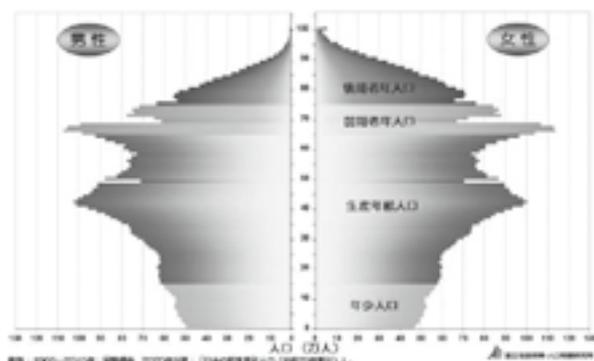
次期の総合戦略は これまでの経験に基づいて改善すべき

麻生 H31年度は総合戦略の最終年となる。施策や目標設定、更には着実に進める方法（PDCA）には改善が必要ではないか。

町長 国は次期総合戦略の方向性を近々提示するため、それを受けて本格的な策定に取り組む。現在の戦略では、目標は全て数値化し進捗の検証が容易になった利点はある。しかし、一部施策の指標に用いた町内総生産額は、数年遅れで数値が確定されるなど、指標の選択に課題を残した。

麻生 戦略策定に住民の意見は反映されるか。

町長 前回同様に、説明会やパブコメで意見を聞き反映させる。

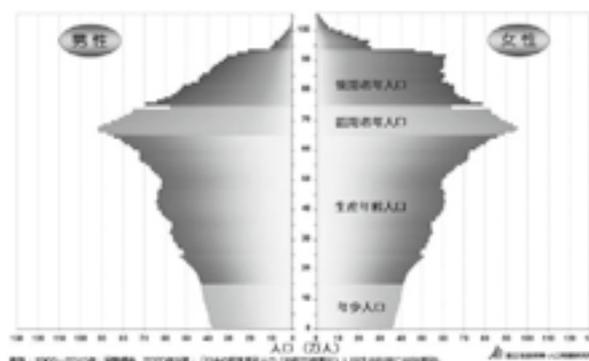


2015年の人口ピラミッド

20年先を想像して 5年10年計画を作るべきではないか

麻生 施政方針にもあるように、最近では、高齢者人口や高齢化率がピークを迎える2040年問題がクローズアップされ、全ての自治体でその解決や対応が必要となってきた。事が大きく、複数自治体が協働して対応しないと、持続可能なまちづくりが達成できない。また、技術や社会構造の大きな変化には、5年程度で見直しが必要な柔軟な計画化が要求される。

町長 2025年問題と2040年問題は連続した線の上にある。県には広域対応を協議する場があるため、積極的に活用する。住民サービス、観光、農業、教育など、一つの自治体での対応が苦しくなる可能性がある。



2040年の人口ピラミッド(年少や生産人口が大幅減)

AI(人工知能)を活用した 行政の効率化とは

麻生 人工知能等の先端技術を導入して、行政の省力化や効率化を行うとあるが、対象業務や方法は。

町長 昨年の知事と市長村長との意見交換会で、住民基本台帳や税、福祉など導入可能な業務を検討する委員会が設置された。町としても体制整備を考える。留意点は行政サービスが低下しないことである。

麻生 省力化や効率化の本来的な価値は、資源の制限によってやれなかったことをやるところにある。空いた資源はどこに投入するのか。

町長 人口減少、高齢化、移住定住課題、福祉など、将来に向け取り組むべき業務が候補である。

基本計画の策定に着手した。職員の提案で次世代を担うメンバーも入れたプロジェクトチームを作り、新たな視点を入れた堅実で弾力的な計画化を目指す。基本計画は前期と後期に分け、5年で見直す。

昔を振り返ると、人口の少なかった時代には、住民が相互に協力して地域を存続させてきた。住民が支え合う原点に立ち返るべきではないか。今後の行政と住民の関係や町の根幹となる産業のあり方等、我々住民が手を取り合って自ら解消していくことで、持続可能なまちづくりがなされるのではなかろうか。

町政を質す 一般質問

大津留
敏加



2040年を見据えて 自立の町づくりは

…… プロジェクトチームを立ち上げ取り組んでいく

20年後を見据えた自立の町づくりは

大津留 町の人口は2月末現在9,505人。全国的に高齢化のピークを迎える2040年ごろには5,880人になると推測されている。自立のまちづくりは。

町長 町の政策指針となる第5次計画（2022～31年）策定に向け、プロジェクトチームを立ち上げた。人口減少の推計や国の指針を基に、町内の公共施設や道路、橋などの管理活用方法を検討。インフラの長寿命化などが大きな課題となる。



町有地伍代の跡地



プロジェクトチームの会議

定住人口増加策について

大津留 町有地、奥野伍代跡地について、執行部と議会と様々な議論をしてきた。一部に町営住宅が建設された。残りの土地を町の定住施策として活用できないか。

町長 伍代跡地の有効活用については、コンビニ等を併用した複合施設も可能かどうか検討してきた。コンビニ大手3社と協議の中で立地条件が出店に適さない回答。今後検討する中で、建物を撤去して更地にしての活用方法となれば住宅地も考えられる。

まち・ひと・しごと創生について

大津留 これまでの進捗状況や最終年度の事業目標達成見込みは如何か。

町長 目標達成が厳しい項目がある。雇用の創出では目標20件が2件、交流人口はマイナス8.5%、担い手は10名が4名。お達者年齢はプラス2才には届かないが県下で2位である。国は新たに地方生活実現政策として、子ども農漁村体験、女性・高齢者活用事業、学ぶ描く力の充実等を策定中である。6月には目標が提示される予定であり、これと連動して次期総合戦略を作成する。

このえまち総合サービス(株)について

大津留 会社発足後、一年が経過した。進捗状況や課題は。

町長 施設の管理受託業務は順調である。農産物の集荷や出荷を試行し、経験を積んだ。新事業は検討中であり、収益性や生きがい対策など多面的に考える。来年の4月からは、新体制で会社を経営する予定である。社長の招聘前には事業を確定させ、提示する。

九重町の学びの共同体づくりで大切なことは人づくり

…………… 各学校間連携のあり方を調査研究する



岐部 俊哉

教育は地域社会を動かしていくエンジンである！

コミュニティスクールとこのえ学園構想

岐部 文部科学省が第3期教育振興基本計画を出した学校の役割として

「自立して豊かな生活を送るための基礎力を培う場」地域の役割として

「実生活・実社会について体験的・探究的に学ぶ場」

これを路まえて地域とともにある学校へ転換することは、地域の人々と目標やビジョンを共有し、特色ある学校づくりを進めていくことである。現在学校運営協議会を設置しているこのえ緑陽中学校のコミュニティスクールの取り組みとこのえ学園構想の課題について説明を求める。

教育長 コミュニティスクールとは図のようになっている。これまでの取り組みについては

※平成27年度…事前準備・視察研修

文部科学省より導入推進事業指定

校内外研修の企画と視察・文科省作業部会傍聴

※平成28年度…学校運営協議会設立

特に4地区のまちづくり協議会との熟議を重ね今後のコミュニティスクールのあり方について研究協議

※29年度から3年間=このえ学園運営協議会の設置

文科省の指定を引き続き受けながら魅力ある学校統合事例の創出について研究していく。

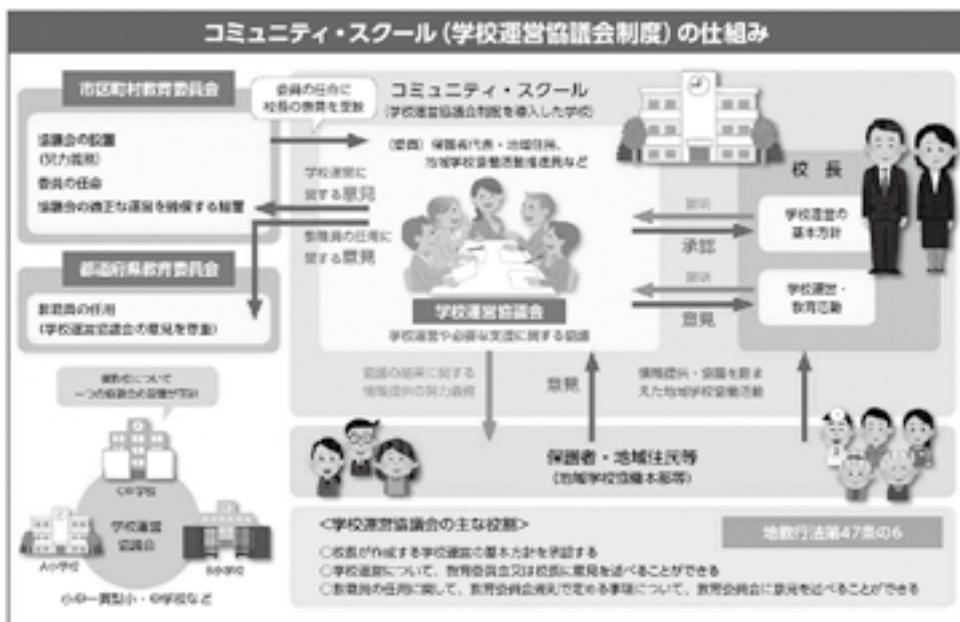
※このえ学園の課題としては

- ① 中学校統合後の地域との連携
- ② 6校ある小学校との連携（運営協議会の設置等）
- ③ こども園+6小学校とのコミュニティスクールの在り方（組織・連携・協働・協育・CN等）

PDCAサイクルを活用した若者定住促進住宅について

岐部 この5年間の児童数の推移については、原因として若者定住促進住宅の設置というような、はっきりした根拠となる数字や理由があるか。住宅提供の方法模索と現在陳情書が出ている淮園校区での若者定住促進住宅の設置を望む。

町長 直接この住宅設置によって小学生の在籍数が増加できたということは掴んでいない。



コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の仕組み

出典:文部科学省ホームページ

あたしのひとこと

新しい時代に

南山田 桐木一

吉光 豊さん



間もなく平成が終わります。昭和から平成に代わった三十年前がつい最近の事のように感じます。

平成になりパソコン、インターネット、携帯電話の普及、IT時代へと変化し、生活はより便利に豊かになりましたが、ただ人との関わりあいや薄くなったような時代、少し寂しさも感じます。

昔はもう少しゆったりした時間を過ごせてたなと懐かしがりながら、時間に追われる日々を過ごしています。さて、新しい時代に代わると

いうことだと思うことがあります。

九重町の成人式。自分の当時から振り返ると、夏に成人式ということで全国的には冬が主流の中、恥ずかしさから夏に休省を取らず、冬に休みを取り帰省したのを思い出します。

そこで美山高校に通う二人の娘たちに聞くと先輩達も

「玖珠町は冬、九重は夏、同級生一緒に二十歳を祝いたい」と言っていた。当然の主張だな〜と思いました。

雪も降らなくなった今、是非今一度議論してもらいたいと思います。



8月15日の成人式

つながりを大切に 支え合う地域で

これからもずっと

東飯田 富来口

諫山 咲子さん



東飯田で、住民型支え合いサービスが始まろうとしています。これは生活のちよつとした困りごとを住民同士の支え合いで解決し、みんなが暮らしやすく、住み続けられる地域にしていくなためのもので、新しい公民館で4月末よりスタートします。

私は今、九重町社会福祉協議会で働いています。仕事では地域の色々な人に会うのですが、「じいちゃんに世話になった」、「おばちゃんと同級生よ」とほんとによく声をか

けて頂きます。父を亡くした時にも、祖父たちが結んできた縁に大変助けられました。

私はこの縁を引き継いで、いつか子どもたちにも同じように温かい人のつながりを感じてもらえるように頑張らなくてはと思っています。最近では同じように地元に戻って頑張っている仲間も増えていつも励まされています。

冒頭に戻りますが、想いの詰まったこの場所で誰もがほっと安心して暮らせるように始まる支え合いの取り組みに私も一所懸命関わっていきたいと思います。

※東飯田地区住民型支え合いサービスについてはまた別のお便りで詳しくお知らせ致します。



公民館で開催されたセミナーには大勢の方が参加してくれました

傍聴へどうぞ 次回は6月です



バトンをつなぐ

第1回

議員リレー

1番からスタート!



① 有吉富生

この度九重町議会副議長に選任されました有吉富生です。

九重町は急速な人口減少で過疎化に歯止めがかかりません、それに伴い地域の環境が大きく変わっています。

この町で生まれた後継者がこの町に残りたい、生活したいと思えるような環境整備を行い若者を増やして、高齢化が進む中で町民が助け合って暮らしていける魅力ある町づくりに取り組みます。

地区リレー

野上



野矢地区の手作りみそ体験(7年目)



飯田



今年も九重スキー場で楽しく遊びました(飯田小学校)

議会クイズ

会議での議席には番号があるけど、その番号はどうやって決まるの?

- ① 好きな番号を選ぶ
- ② 議長が決める
- ③ ルールがある

(答え)③ 議長12番、副議長1番、2番目から当選回数順です。(5ページを見てくださいね)

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局:76-3814】

平成31年4月17日
発行/九重町議会 編集/議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809
メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

編集後記

春、議会も新しい体制でスタートしました。よりよい九重町をつくるため、一丸となつてがんばります!

議会広報も、これまでの改革に加え、新たな取り組みも始めました。

裏表紙は、リレー形式で議員のひと言と各地区イベントを紹介します。

なぜ?が多い議会のことをクイズ形式でお伝えします。

議会や広報への質問・意見・感想などをお寄せください。楽しく読みやすい議会だよりをめざします!

増田 裕子



本会議場の議席

- 広報委員長 増田 裕子
- 副委員長 麻生 良典
- 委員 有吉 富生
- 委員 佐藤 明郎
- 委員 岐部 俊哉
- 委員 野上 香代子